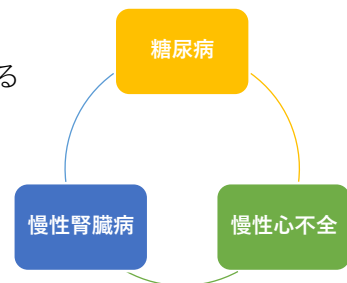


至適使用のポイント（医療従事者用）

SGLT2阻害薬はどうやって効くの？

- 糖尿病、慢性腎臓病、慢性心不全はいずれも生命予後に重篤な影響を与える疾患で、互いにリスク因子や重症化因子であることが知られています。
- 疾患を合併している患者に対しては、それぞれの疾患に対して効果が期待できることを説明し、重要度の高い薬であることを理解していただくことが大切です。
- 服用開始後、約2-4週間はナトリウム排泄を伴う利尿作用が現れることを説明してください（☞ CQ9参照）。
- イニシャルディップは腎保護・心保護効果の表れかもしれないことを伝え、過度に不安になることなく服薬を継続するように指導してください。（☞「その他の注意事項」の指導箋を参照）。
- 以上の共通事項に加えて、以下の各適応症毎の補足ポイントも指導に活用してください。



糖尿病（☞ BQ2参照）

- ・糖代謝の改善によってインスリンを効きやすくする作用もあります。
- ・体重減少や蛋白尿改善、心血管合併症抑制などの効果も説明することで、服用目的の理解を促します。

慢性腎臓病（☞ BQ3参照）

- ・糖尿病の有無に関わらず腎機能低下抑制作用が認められますが、蛋白尿陽性者ではより大きな効果が期待できます¹⁻³⁾。

慢性心不全（☞ BQ4参照）

- ・患者にとって薬の作用を実感するのは投与初期の利尿作用であることが多いです。
- ・利尿作用が落ち着いた後も服用を続けることで心不全の進行を遅らせる効果が期待できます。

SGLT2阻害薬の服用を続けるにあたって

- 慢性腎臓病に対してはeGFRの低下速度鈍化、慢性心不全に対してはNT-proBNPやBNPなどの指標を参考にしますが、患者自身が効果を実感することは難しいことも多いため、怠薬につながらないよう必要性を理解してもらうことが必要です。
- 飲み忘れた場合の対応は医師から個別の指示がある場合を除き、飲み忘れた分は服用せずに次回から通常通りの服用法で1回分を服用してもらうこととしています。

引用文献

- 1) Herrington WG, et al. N Engl J Med 2023 ; 388 : 117-27. PMID : 36331190
- 2) Giorgino F, et al. Cardiovasc Diabetol 2020 ; 19 : 196. PMID : 33222693
- 3) Li N, et al. Front Med (Lausanne) 2021 ; 8 : 728089. PMID : 34790672

SGLT2阻害薬の効果

● SGLT2阻害薬（あなたの薬に✓）

- エンパグリフロジン（ジャディアンス®・トラディアンス®配合錠AP/BP）
- イブラグリフロジン（スーグラ®・スージャス®配合錠）
- カナグリフロジン（カナグル®・カナリア®配合錠）
- トホグリフロジン（トホグリア®）
- ダバグリフロジン（ダバグリア®）

処方された薬と適応症のチェックボックスに印☑をつけて指導に用いてください

■ SGLT2阻害薬は、尿中の糖を排出し、血糖値を下げます（尿糖室で尿糖が陽性になります）。

- 腎臓の負担を軽減し、蛋白尿やアルブミン尿を減らします。
- 服用開始後早期は、尿中のナトリウム排泄増加を伴った利尿作用を示します。
- 上記のほか、様々な働きによって以下の疾患の治療に用いられます。

糖尿病
☑
■ 糖代謝の改善、体重の減少、心血管合併症の抑制などの効果があります。

慢性腎臓病
☑
■ 初期に一時的に腎機能の低下（eGFR®の低下あるいはクレアチニンの上昇）を認める場合がありますが、長期に継続することで腎機能の低下速度を緩め、透析導入を遅くすることが期待できます。 ※eGFR：推定糸球体濾過量

慢性心不全
☐
■ 心臓の収縮力を保ち、心臓の寿命を延ばします。
■ 腎臓と心臓はお互いに助け合っているため、腎臓の負担を軽減することで心臓の負担も軽くなります。

● SGLT2阻害薬の服用を続けるにあたって

- 医師の指示に従って長期に継続することで治療効果が期待できます。
- 糖尿病に対してインスリンを使用している患者さんは、自己判断でインスリン注射を中止したり減らしたりしないでください。
- 飲み忘れた場合は、忘れた分は飲まずに翌日にその時飲も1回分を飲んでください。
- SGLT2阻害薬を服用していても、適切な食事療法や運動療法を継続することが重要です。
- 副作用を予防するうえで、こまめな飲水が重要です。

©2023 日本腎臓病薬物療法学会